

## 令和元年度 第45回ゆうゆうキャンプを開催

8月18日(日)～20日(火)の2泊3日、鳥取学生赤十字奉仕団(委員長 堀尾幸永、団員数40名)は、鳥取砂丘こどもの国(鳥取市浜坂 1157-1)において、令和元年度「第45回ゆうゆうキャンプ」を開催しました。

今年度も県内の小学生のみならず、定員を上回る応募をいただきました。ありがとうございました。4月から計画・準備を進めてきた団員たちの意気込みは十分。前日17日(土)には最終打合せを終え、やる気いっぱい当日を迎えました。

キャンプ場に到着した子どもたちは少し緊張気味。これからのどんなキャンプが始まるのか、ハラハラドキドキしながら開会式を迎えました。

1日目、まずは名札作り、班の友達に自己紹介。続いて、大きなペンを使って協力して絵を描くドローイングチャレンジをして、班のメンバーと仲良くなりました。ドローイングチャレンジは友達と仲良くなるだけではなく、災害時にはコミュニケーションをとることが大切であることを学ぶプログラムでもあります。その後は、テント設営をして、夕食作り。飯盒炊爨をするのが初めての子どもたちも多く、みんなで時間をかけて作ったカレーの味は最高でした。夜に向けて懐中電灯やお風呂のボディークリームなどの準備など係の活動もがんばり、一人一人が役割をもってキャンプを盛り上げる。そんな意識の芽生えた1日目になりました。



【開会式】



【ドローイングチャレンジ】



【テント設営】



【名札作り】



【飯盒炊爨】



【夕食 カレーライス】

2日目は朝からしとしと雨。子どもたちは雨用のプログラムを楽しみます。昼食は冷やし中華を食べて、午後は赤十字救急法でいざという時のために、心肺蘇生法を学び、子どもたちは真剣な面持ちで取り組みます。雨も上がり、子どもたちは元気いっぱい、広場でのプログラムを楽しみました。夕食のスープパスタを食べた後は、いよいよお待ちかねの肝試し。怖くない・・・と言いながらも、子どもたちはキャー！！ワー！！と大騒ぎ。少し怖くも楽しいキャンプの思い出となりました。



【ドッジボール大会】



【ハットポトル運び競争】



【食事作り】



【赤十字救急法】



【スープパスタ】



【レクリエーション】

3日目の朝は大雨。一時的にキャンプ場のログハウスに避難させていただき、みんなで寄せ書きをしました。キャンプ最終日、それぞれの思いを色紙に込めました。昼前には雨が上がり、キャンプ最後の思い出にとみんなが輪になって手をつなぎ、命令ジャンプゲームで盛り上がりました。しめくくりの閉会式では、それぞれがキャンプの3日間をふりかえりながら、代表児童のあいさつを聞きました。



【寄せ書き】



【命令ジャンプゲーム】



【閉会式】



開催にあたり、保護者のみなさまには送迎等さまざまなご配慮をいただきありがとうございました。

また、鳥取砂丘こどもの国のみまさまをはじめ、ご協力をいただきました関係者のみなさまに心よりお礼申し上げます。

※キャンプ中の参加者向け写真につきましては、本ホームページにて、9月20日（金）～30日（月）の期間、パスワードを付加して提供いたします。



第45回 ゆうゆうキャンプ

令和元年8月18日(日)～20日(火)

日本赤十字社 鳥取県支部

鳥取学生赤十字会